

土砂災害防止月間（砂防課）

国土交通省と静岡県では、梅雨前線等により雨量が多く、地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすくなる6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくための様々な活動を行っています。



急傾斜地パトロールの様子(富士宮市)



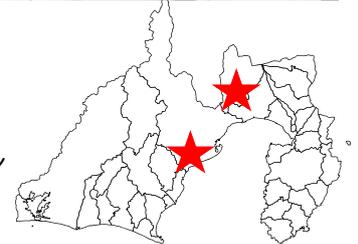
街頭キャンペーンの様子(JR静岡構内)

【急傾斜地パトロール】

土木事務所を中心として、市町職員、砂防ボランティア、警察、消防、地域住民等と連携して、急傾斜地崩壊危険区域にある施設の点検パトロールを行いました。

【街頭キャンペーン】

6月21日（金）に県と国土交通省静岡河川事務所、静岡地方气象台、静岡市が協力して、通勤・通学等されるみなさまに「日頃の備え」と「早めの避難」を呼びかけ、リーフレットや啓発グッズを配布しました。



土砂災害・全国防災訓練（砂防課）

土砂災害に対する避難体制の強化と防災意識向上を図ることを目的に、土砂災害警戒区域等における住民参加による避難訓練を毎年実施しています。本年、全国統一日の6月2日(日)には、27市町で地域住民や関係機関など約2,200人が参加し、自助・共助による防災意識を高めました。



住民同士で声かけ訓練を行う様子(浜松市)



ハザードマップ作成の様子(川根本町)

【本年の重点取組】

本年は、昨年全国各地で発生した甚大な土砂災害の教訓を生かし、より実効性のある訓練として「避難の声かけ、安全の確認」をキャッチフレーズに、地域内での声かけによる避難や、安全を確認する訓練を重点的に行いました。

【訓練項目】

ハザードマップを活用して、土砂災害警戒区域・危険箇所の位置・避難場所・避難経路等の現地確認を行いました。



安間川遊水地（河川企画課）

【現場の紹介】

天竜川水系の安間川では、治水安全度向上のため遊水地の整備を行っています。本年7月22日～23日の大雨では、安間川遊水地に最大約10m³/秒の洪水が流れ込みましたが、**安間川遊水地に水が流れ込む地点において最大約43cmの水位が低下する効果**がありました（試算値）。



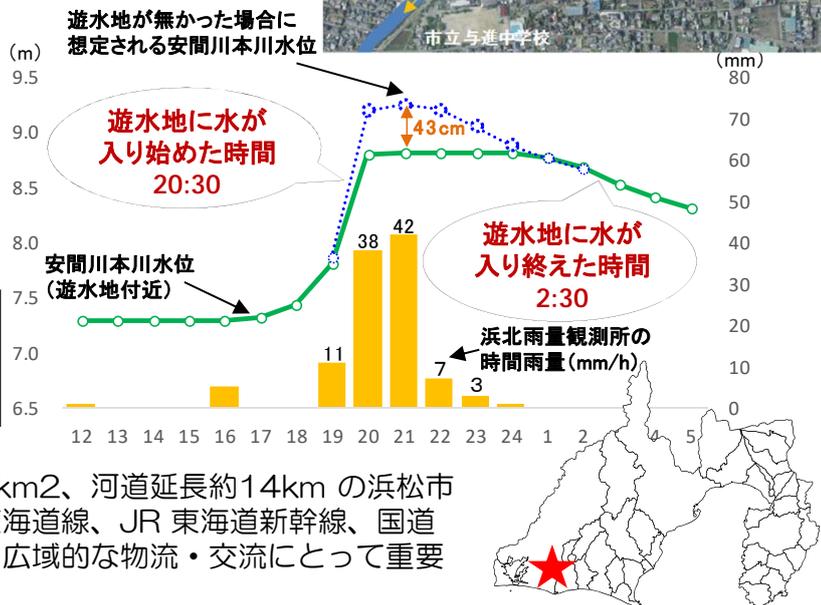
遊水地に水が貯まっている状況

遊水地の機能は・・・

河川を流れる洪水を越流堤と呼ばれる部分から引込み、一定期間水を貯め込むことで、下流へ流れる洪水量（負荷）を軽減させます。

【安間川】

一級河川天竜川の右支川であり、流域面積約21km²、河道延長約14kmの浜松市の東部を流れる一級河川です。この河川は、JR東海道線、JR東海道新幹線、国道1号、東名高速道路といった交通の要衝が集中し、広域的な物流・交流にとって重要な地域の中に位置しています。



清水西海岸（河川海岸整備課）

【現場の紹介】

清水海岸では、平成25年6月の世界文化遺産「富士山」の構成資産としての登録に伴い、景観改善と海岸保全の両立を目的として整備を進めています。**平成30年度末に1号L型突堤の整備が完了**しており、今後は、養浜の効果を確認しながら、既設消波堤の移設を進めます。



三保松原から望む富士山



完成したL型突堤

【清水海岸】

駿河湾西側に位置する砂礫海岸で、三保松原を背景に富士山や伊豆半島を望むことができる白砂青松の海岸です。



令和元年度「旬な現場」第1号を発売します。河川砂防局が実施している事業や取組について幅広く発信します！！（河川企画課 三井）



静岡県交通基盤部河川砂防局

Tel : 054-221-3038

Mail : kasenki@pref.shizuoka.lg.jp

HP : <https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-320/>

